萩市交通サービス調査業務 観光者移動実態 WEB アンケート報告書

令和3年3月

日本工営株式会社

1. 観光者移動実態 WEB アンケート調査の実施

1.1. 調査概要

主に萩市の観光地訪問がある方を対象とし、目的地、バス停間の移動実態、鉄道・幹線バスなど結節点での乗継実態など周遊行動を把握し、利用者の移動需要を整理する WEB アンケート調査を実施した。これらを基に、二次交通機関に関する不満点や、目的地までの交通手段を検討する際に何を情報源としたか等を把握し、萩市中心部の観光二次交通検討の判断材料とした。なお、対象者は公共交通での来萩者が多いと想定される関東関西在住者と、マイカー利用が多いと想定される中国/九州地方から選定した。

表 1-1 実施した調査の概要

東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、広島県、山 山口県萩市の観 光と交通に関す 調査を実施した。WEBアンケート会社へ抽出を 萩来訪経験者: 221 人	調査項目	調査実施概要	実施状況
るアンケート 依頼した。 萩来訪未経験者:882人	山口県萩市の観	口県、福岡県在住者を対象に、WEB アンケート 調査を実施した。WEB アンケート会社へ抽出を	回収数(Web) :1,103 票 萩来訪経験者:221 人

表 1-2 実施した調査の概要

概要	設問
訪問経験・回数	あなたは最近 10 年以内に山口県萩市を観光(出張時に観光地に寄られた
	場合も含む)されたことがありますか?
同行者数	萩市内の観光は何人で周りましたか?(近年複数回の萩への来訪経験が
	ある方は、最新の来訪経験に基づきお答えください。本設問以下全ての問
	も同様です。)
滞在日数	萩市内には何日間滞在されましたか?
訪問観光地	萩市中心部で観光された場所を全てお選びください。
萩までの交通手段	ご自宅(又は萩市を訪れる前にいた場所)から萩市中心部までの主な交通
	手段は何ですか?
萩市内の交通手段	萩市中心部を観光・回遊された際に、利用した移動手段は何ですか? 複数
	の手段をお使いの場合は、使用した手段を全てお答えください。
観光情報入手方法	萩市中心部の観光情報(どこに何があり、どのように行けるか)はどのよう
	に入手されましたか?(複数選択可)
公共交通を用いて観	萩市中心部を観光する場合に、どのようなことが改善されれば、まぁーるバ
光する場合の改善点	ス等の公共交通を利用して観光しようと思いますか?(複数選択可) 既に
	まぁーるバス等の公共交通利用して萩市中心部を観光したことがある方は
	使った際に感じたことをお答えください。萩市中心部を公共交通を使って
	観光したことがない方は、どのような条件であれば公共交通を利用して萩
	市内を観光しようと思うかをお答えください。
性別	属性に基づくクロス集計に活用。
年齢	
居住地	

1.2. 作成した WEB アンケート調査票

山口県萩市の観光と交通に関 するアンケート 山口県萩市では、市内中心部の観光回遊のための 移動手段改善に向けて検討を行っております。 本アンケートは萩市への観光のご経験や移動手段 などを伺い、今後の改善の取り組みに活かす目的 で実施しております。 で表施しております。 なお、記入された内容については、統計的な処理 を行うことのみに活用し、調査の目的以外に使用 することは一切ございません。 調査の目的をご理解いただき、ぜひアンケートに Q1. お答えいただきますようお願いいたします。 あなたは最近10年以内に山口県萩市を観光(出 萩市 商工振興課 張時に観光地に寄られた場合も含む)されたこ とがありますか? 1回訪れた 2回訪れた ○ 3回以上訪れた ○ 行ったことは無い 02. Q3. 萩市内には何日間滞在されましたか? 萩市内の観光は何人で周りましたか? (近年複数回の萩への来訪経験がある方は、 量 新の来訪経験に基づきお答えください。本設問 〇 1日 以下全ての問も同様です。) 〇 2日 ○ 1人 (ご自身のみ) 〇 3日 〇 2人 〇 4日 〇 3人 ○ それ以上 〇 4人 ○ それ以上 未回答の質問があるか回答にエラーがあります。 (Q2,Q3)



Q4.

萩市中心部で観光された場所を以下から全てお 選びください。ご回答の際は、上図ガイドマッ プを参考にされてください。

萩城下町周辺(高杉晋作誕生地、木戸孝允旧 宅、菊屋横町、萩博物館など)

- 行った
- 行かなかった

萩反射炉

- 〇 行った
- 行かなかった

萩・明倫学舎エリア周辺(旧萩藩校明倫館など)

- 行った
- 行かなかった

藍場川沿い周辺(旧湯川家屋敷、桂太郎旧宅 など)

- 行った
- 行かなかった

堀内伝建地区周辺(口羽家住宅など)

- 行った
- 行かなかった

萩城跡(指月公園)とその周辺

- 行った
- 行かなかった

萩焼体験

- 行った
- 行かなかった

平安古伝建地区周辺(旧田中別邸、鍵曲、河 添河川公園など)

- 行った
- 行かなかった

浜崎伝建地区周辺(住吉神社、旧萩藩御船倉など)

- 行った
- 行かなかった

萩八景遊覧船

- 行った
- 行かなかった

萩しーまーと

- 行った
- 行かなかった

松陰神社エリア周辺(伊藤博文旧宅、吉田松 陰誕生地、東光寺など)

- 行った
- 行かなかった



Q7. 萩市中心部の**観光情報(どこに何があり、どの ように行けるか)**はどのように入手されました か?(複数選択可) * (複数選択) Googleマップ トリップアドバイザー、4トラベル、 じゃらん、楽天トラベル等の旅行情報 サイト ホテル・旅館のフロントやコンシェル ジュ 萩市観光協会HP 萩市観光協会窓口 旅行ガイドブック 駅等に設置されているパンフレット □ 口コミ (知人・友人からの情報) その他

Q8.

萩市中心部を観光する場合に、どのようなことが改善されれば、まぁーるバス等の公共交通を利用して観光しようと思いますか? (複数選択可)

既にまぁーるバス等の公共交通利用して萩市中 心部を観光したことがある方は使った際に感じ たことをお答えください。

萩市中心部を**公共交通を使って観光したことが** ない方は、どのような条件であれば公共交通を 利用して萩市内を観光しようと思うかをお答え ください。

ご回答の際は、上図路線図、ガイドマップを参 考にされてください。

※まぁーるバスとは、萩市中心部の観光に便利な2ルートをそれぞれ30分間隔で循環する100円で乗れるバスです。

* (複数選択)

- 観光地のホームページにアクセス情報 として、まぁーるバス等の公共交通の ことが書いてあること
- まぁーるバス等の公共交通の運行情報 が、萩市に訪れる前に簡単に入手でき ること
- 萩市中心部の観光地を回遊する際に、 待たずにバスが来ること
- バス停が観光地の近くにあること
- 運賃の支払いに全国共通交通系ICカードが使用できること



図 1-1Web アンケート回答画面

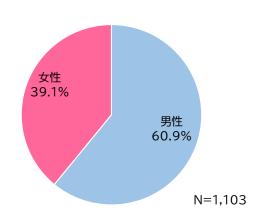
1.3. 調査結果

(1) 回答者属性

A) 性別

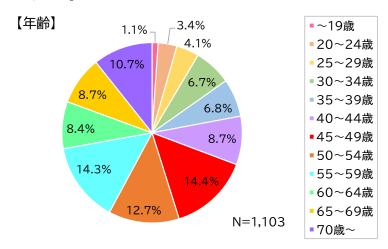
男性が6割であった。

【性別】



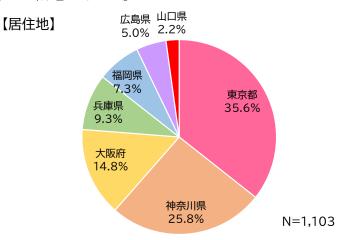
B) 年齢

5割以上は50歳台以上であった。



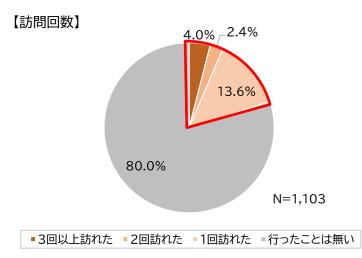
C) 居住地

関東及び関西在住者が8割超であった。



D) 萩市への訪問経験・訪問回数

アンケート回答者の内、221人が来萩経験ありであった。6.4%は複数回の訪問経験があった。

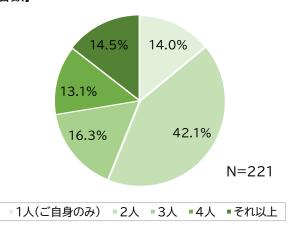


以後の設問は萩への訪問経験が1回以上ある方(N=221)を対象に集計を行った。

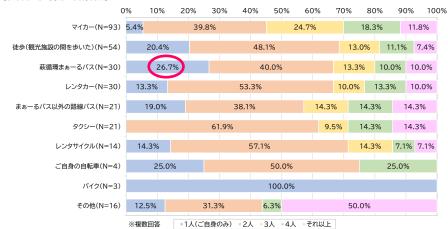
(2) 同行者数

萩循環まぁーるバスは、単身者の利用が多い傾向が伺える。 マイカー利用は、複数人が同一行動をとる場合に利用されている傾向が伺える。

【同行者数】

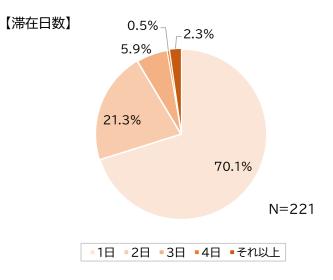


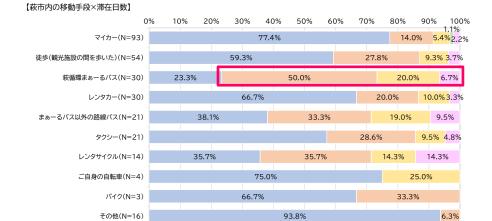
【萩市内の移動手段×同行者数】



(3) 滞在日数

萩循環まぁーるバスは、2 日以上の滞在者の利用が最も多かった。一方マイカー利用は日帰りが最も多かった。





- 2日 - 3日 - 4日

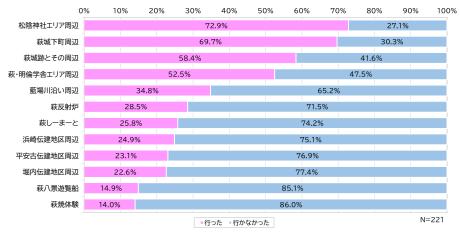
■それ以上

※複数回答

-1⊟

(4) 訪問観光地

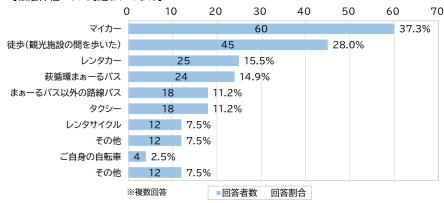
松陰神社エリア、萩城下町、萩城跡の順に訪問経験がある方の割合が多かった。



(a) 松陰神社エリア周辺

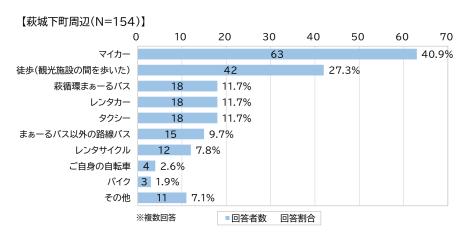
マイカー利用に次いで、徒歩利用が多いことが伺える。周辺に観光地が集積していることから、徒歩で周遊していることが推察される。





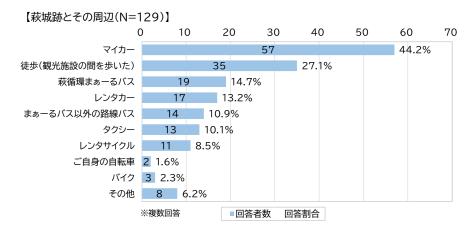
(b) 萩城下町周辺

城下町周辺は観光地が集積しており周遊観光しやすい環境であることから、徒歩利用が多くなっている。



(c) 萩城跡とその周辺

市役所周辺からやや距離があることから、萩循環まぁーるバスの利用が一定程度見受けられる。



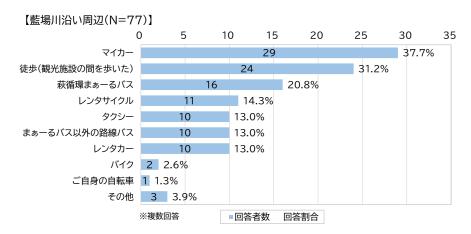
(d) 萩・明倫学舎エリア周辺

マイカー利用の割合が最も高い。大規模な駐車場が備えられているため、まずマイカーを駐車し周辺を観光する実態が推察される。



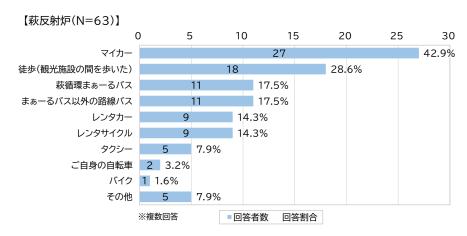
(e) 藍場川沿い周辺

藍場川沿いを歩いて回る観光形態であるため、徒歩の割合が高くなっている。



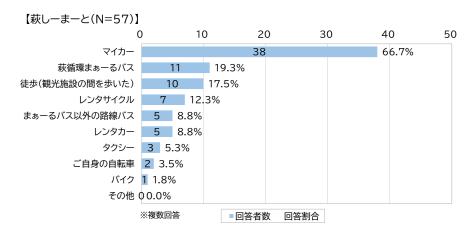
(f) 萩反射炉

マイカーに次いで徒歩利用が多かった。萩循環まぁーるバスについても、近隣バス停が「しーまーと」であることから、徒歩で向かっているものと推察される。多くの方が徒歩でアクセスしていることが伺える。



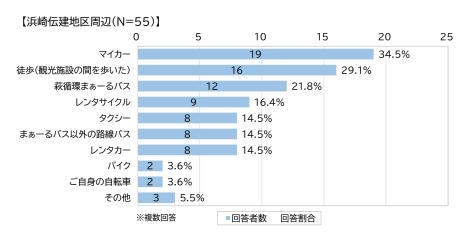
(g) 萩し一まーと

道の駅であることから、マイカー利用が最も多かった。次いで萩循環まぁーるバス、徒歩の順であった。



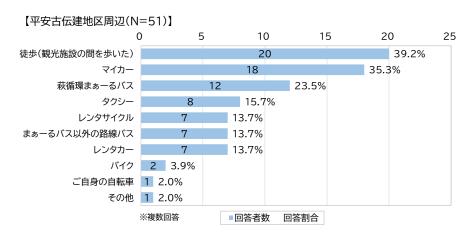
(h) 浜崎伝建地区周辺

伝統的建造物群保存地区周辺は、分かりやすい駐車場が備わっていないため、萩明倫センター等で駐車し、萩循環まあーるバスや徒歩で周遊しているものと推察される。



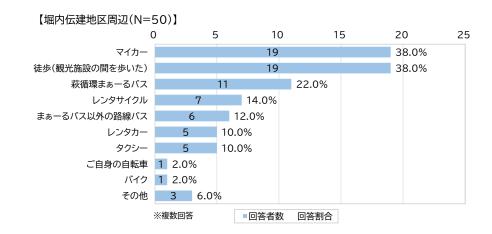
(i) 平安古伝建地区周辺

かんきつ公園等で駐車し、徒歩で周遊しているものと推察される。



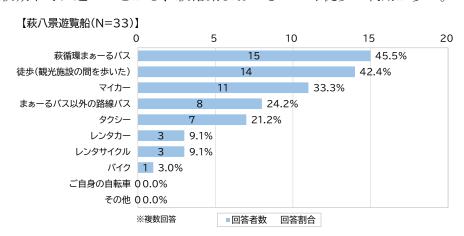
(j) 堀内伝建地区周辺

伝統的建造物群保存地区周辺は、分かりやすい駐車場が備わっていないため、萩明倫センター等で駐車し、萩循環まぁーるバスや徒歩で周遊しているものと推察される。



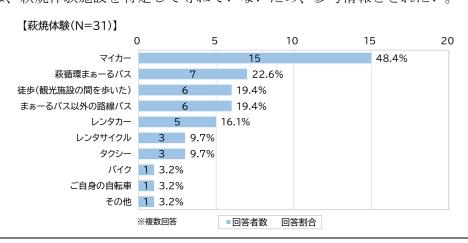
(k) 萩八景遊覧船

乗降場所が萩城下町に近いことから、萩循環まぁーるバスや徒歩の利用が多い。



(1) 萩焼体験

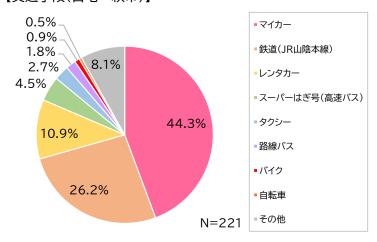
本設問では、萩焼体験施設を特定して尋ねていないため、参考情報とされたい。



(5) 萩までの交通手段

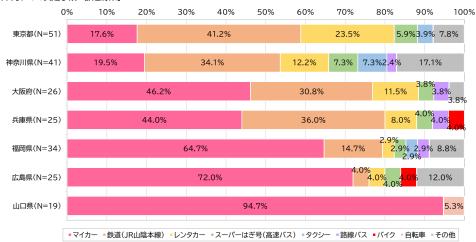
マイカー利用、鉄道、レンタカーの順であった。居住地別にみると、関東・関西居住者は鉄道利用が多い。関東居住者は、レンタカー利用も一定数見受けられる。萩に近いほどマイカー利用が多くなり、山口県居住者は9割超がマイカー利用である。一方スーパーはぎ号はいずれの居住地においても1割以下である。

【交通手段(自宅→萩市)】



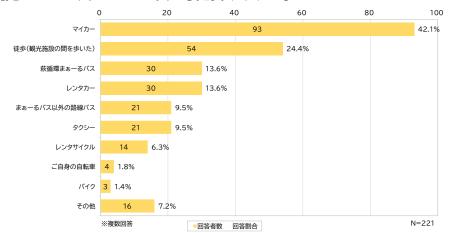
【その他】		回答者数
観光バス		4
ツアーバス		3
貸切バス		3
バスツアー		2
ツアー		1
やまぐち観光周遊バス		1
観光バス(修学旅行)		1
社内旅行のバス		1
萩往還マラニック		1
飛行機 バス		1
	合計	18

【萩市内までの交通手段×都道府県】



(6) 萩市内の交通手段

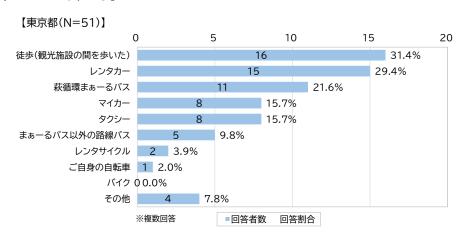
萩市内の交通手段は、マイカー利用、徒歩、萩循環まぁーるバス、レンタカーの順であった。 その他、観光ツアーで周ったという声も見受けられた。



【その他】		回答者数
観光バス		3
ツアーバス		3
貸切バス		3
バスツアー		1
観光バス(修学旅行)		1
バス		1
ツアー		1
社内旅行のバス		1
やまぐち観光周遊バス		1
覚えていない		1
	総計	16

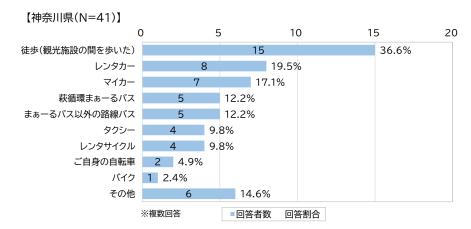
(a) 東京都在住者

徒歩、レンタカー、萩循環まぁーるバスの順であった。東京都在住者は公共交通やレンタカーでの来萩の割合が多いことから、萩市内では徒歩や萩循環まぁーるバスを利用する方の割合が高いことが伺える。



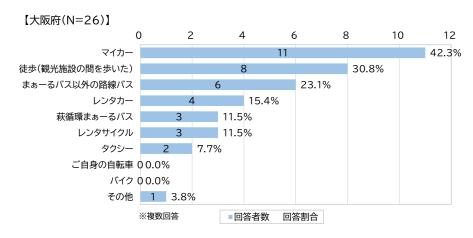
(b) 神奈川県在住者

徒歩、レンタカー、マイカーの順であった。



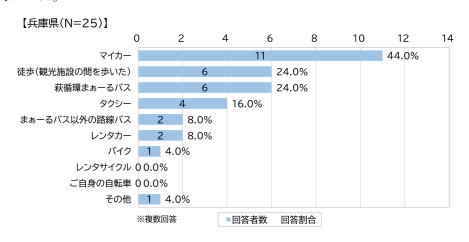
(c) 大阪府在住者

マイカー、徒歩、路線バスの順であった。路線バス利用が他の地域と比べて多い。



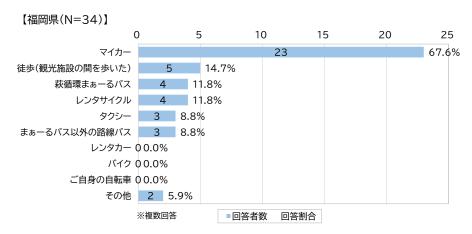
(d) 兵庫県在住者

マイカー、徒歩、萩循環まぁーるバスの順であった。まぁーるバス利用と答えた方の割合が 最も高かった。



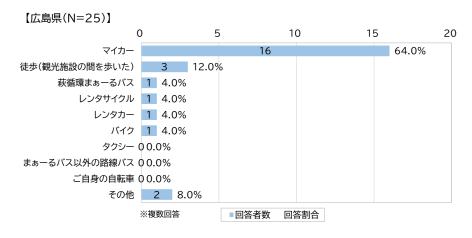
(e) 福岡県在住者

マイカー、徒歩、萩循環まぁーるバスの順であった。九州や中国地方からはマイカーでの来 萩の割合が高いため、萩市内の移動もマイカーの割合が高い傾向である。



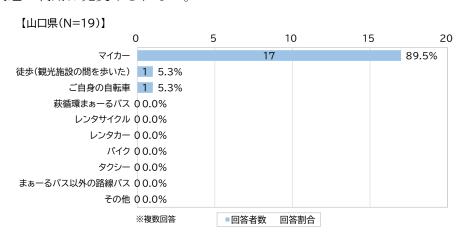
(f) 広島県在住者

公共交通の利用はほとんど見受けられない。



(g) 山口県在住者

公共交通の利用は見受けられない。

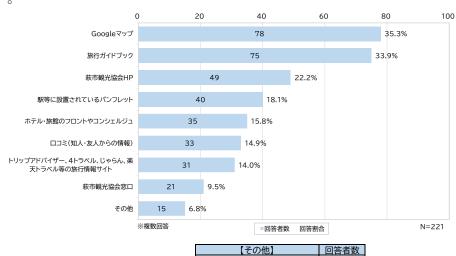


(7) 観光情報入手方法

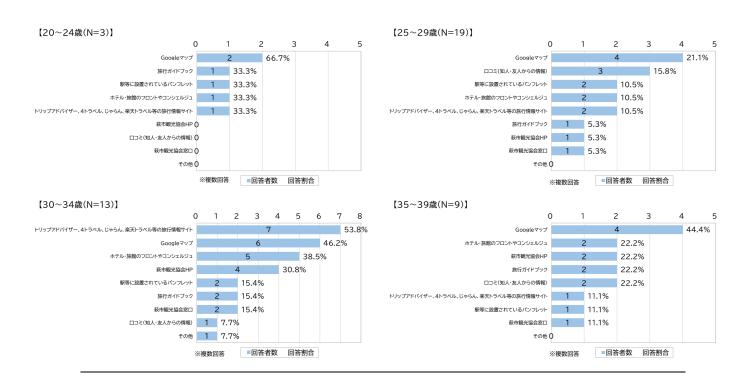
Google マップ、旅行ガイドブック、観光協会 HP、駅等に設置されている観光パンフレットの順であった。その他ブログ等から情報を入手している状況が伺える。

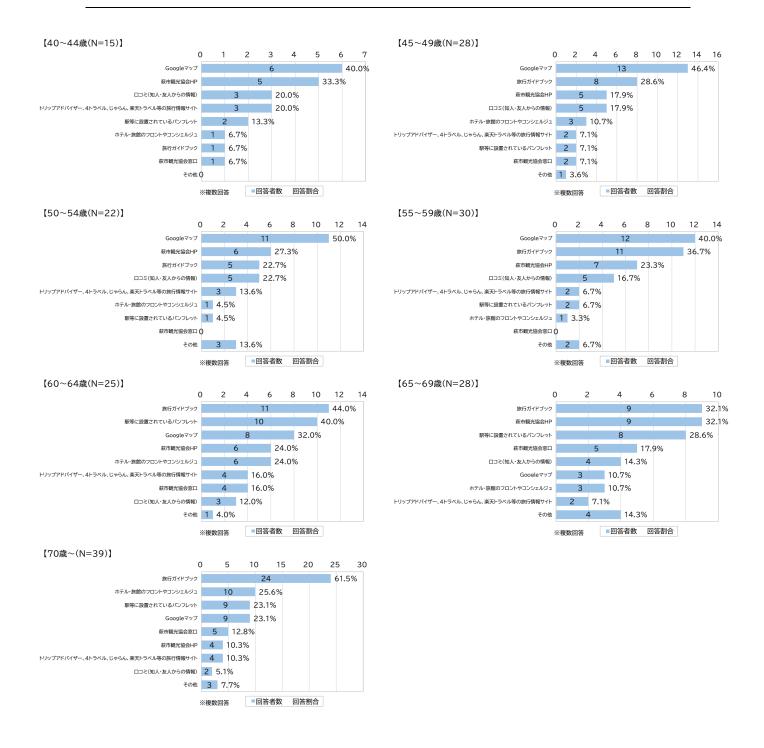
年齢別にみると、50歳代まではGoogle マップからの割合が高く、30歳代前半のみ旅行情報サイトからの情報入手が最も多かった。

60 歳代以上は旅行ガイドブックや観光パンフレット等の紙媒体からの情報入手している割合が高い。



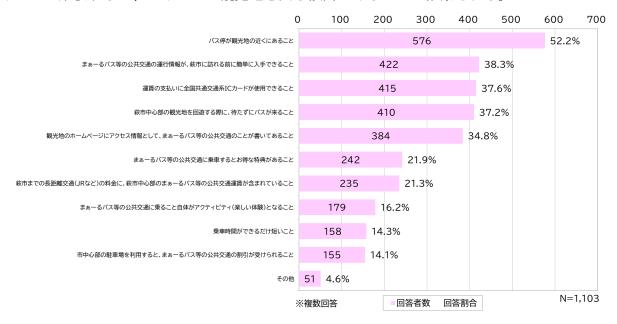






(8) 公共交通を用いて観光する場合の改善点(萩未訪問者意見含む)

「バス停が観光地の近くにあること」、「公共交通の運行情報が、萩市に訪れる前に簡単に入手できること」、「運賃の支払いに全国共通交通系 IC カードが使用できること」の順であった。「市中心部の駐車場を利用すると、公共交通の割引が受けられること」は関心が低く、マイカーで来萩すると、マイカーで観光地を回る傾向があることが推察される。



【その他】	回答者数
特にない	5
なし	4
特になし	3
訪問した事がない	1
他ではありますが全線乗り降り可能の1日定期券	1
今のご時世だと感染症対策がきちんとしてあるかどうか	1
30分に一本でなく本数が増えること	1
特にありません。	1
バスは酔うので使わない	1
路線近くに無料の駐車場があること	1
フリーパス券があること	1
申し訳ありませんが、そもそも山口県に行く気が無いです。	1
まあーるバス等の公共交通の利用者は自家用車で行った場合無料駐車場を利用できると嬉しい	1
知らない	1
マイカー	1
萩に行きたいと思わない	1
モデルコースが掲載されていること	1
利用しない	1
よく分からない	1
行った事ないからワカラナイ	1
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1
	1
19日本によりアプランかよの一つバスの停車がに延えに来て入れる わからない	1
全てにおいて低価格	1
一日定額	1
一口に銀 待ち時間が少ない	1
運行本数が多いこと	1
連打平数が多いこと 地元の人でなくても、判り易いバス停で有る事。	1
とくにない	1
ない	1
特に興味ない	1
運転頻度が多いこと	1
特に無い	1
付に無い 改善すべき点すら分からないため答えられない	1
	1
<u>訪ねたことはない</u> 観光したいと思わない	1
観光したいと思わない 無料にする	1
<u>無料にする</u> 興味ない	1
	1
旅行は嫌い (そもない)	1 1
行かない 100円 カナー トマピュル ナルカ	
100円をもっとアピールすべき。	
行くことは無い	
総計	51

1.4. 観光客アンケート調査結果を受けたまぁーるバス改善に向けた方向性

(1) 東萩駅からの公共交通アクセス充実

- ・来萩者の約26%はJR山陰本線を利用していることから、東萩駅からの公共交通アクセスを 充実させる必要がある。
- ・まぁーるバスの西回りについても東萩駅への乗り入れ検討が必要である

(2) Google マップ等の情報提供の充実

- ・観光情報の入手については、50歳代まではGoogle マップを活用しているため、観光地までの経路について公共交通アクセスが表示されるように対応する必要がある
- ・60 歳代以上の世代は引き続き観光パンフレット等の紙媒体を活用している方が多いことから、パンフレット等への公共交通アクセスについての記載を必ず行う、常に最新情報にアップデートすることが必要である

(3) ホテル・旅館等と連携したまぁーるバスの情報提供

・一泊旅行以上の長期滞在者はまぁーるバスを利用する傾向が高いことから、ホテル・旅館等において観光地への公共交通アクセスについて説明できる体制(まぁーるバスパンフレットの設置及び従業員の公共交通知識の向上)が必要である

(4) 単身旅行(ひとり旅)者に向けたまぁーるバスの情報提供

・単身旅行者はまぁーるバスを利用する傾向が高いことから、ひとり旅の旅行商品(宿泊プラン等)に対してまぁーるバスを PR する、ホテル・旅館等で単身客に対してまぁーるバスパンフレットを渡すよう促すなどの積極的な PR が必要である